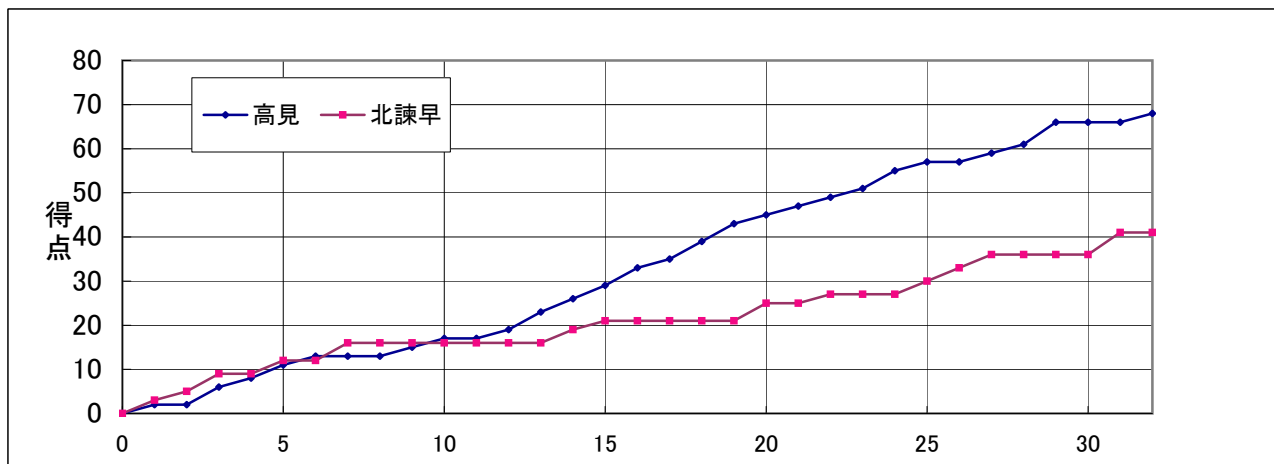


大会名	平成21年度 第30回全九州中学生 バスケットボール春季選手権大会	C1	9:30	女子1回戦															
	期日	2010年(平成22年)3月13日(土)	高見 68 (福岡1位) ○	<table border="1"> <tr><td>13</td><td>—</td><td>16</td></tr> <tr><td>20</td><td>—</td><td>5</td></tr> <tr><td>22</td><td>—</td><td>6</td></tr> <tr><td>13</td><td>—</td><td>14</td></tr> <tr><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr> </table>	13	—	16	20	—	5	22	—	6	13	—	14	—	—	—
					13	—	16												
20	—	5																	
22	—	6																	
13	—	14																	
—	—	—																	
会場	コンパルホール	41 北諫早 ● (長崎2位)																	

主審 吉田聖子

副審 草野恵理子



タイム・アウト(経過時間)

1Q・2Q	3Q・4Q	OT1	OT2
—	28:55	—	—

高見

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 高橋 幸奈	2	0	1	0	0
5	水上 千聖	—	—	—	—	—
6	栗原 沙妃女	3	1	0	0	2
7	扇山 里紗	0	0	0	0	0
8	* 荒川 紗笑子	4	0	2	0	2
9	二見 捺央	—	—	—	—	—
10	* 萩尾 千尋	19	0	8	3	3
11	中尾 イダリア	5	0	2	1	0
12	宮本 玲奈	—	—	—	—	—
13	藤井 園子	2	0	1	0	0
14	* 森田 菜奈枝(C)	15	1	6	0	2
15	栗原 奈那恵	—	—	—	—	—
16	* 有田 かな	18	0	9	0	3
17	森 彩乃	—	—	—	—	—
18						
コーチ	山崎 修					
合計		68	2	29	4	12

タイム・アウト(経過時間)

1Q・2Q	3Q・4Q	OT1	OT2
10:46 12:56	19:21 28:28	31:13	—

北諫早

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 佐藤 琴音(C)	6	2	0	0	0
5	濱口 由香梨	—	—	—	—	—
6	中村 美穂	2	0	1	0	0
7	前川 遥	0	0	0	0	0
8	増田 彩花	—	—	—	—	—
9	野田 美沙季	—	—	—	—	—
10	* 北御門 梨瑠	8	0	4	0	3
11	* 大谷 彩瑛	3	0	1	1	0
12	上戸 悠里	—	—	—	—	—
13	* 濱口 千恵梨	8	2	1	0	3
14	* 道脇 千里	14	1	5	1	0
15	小柳 彩音	—	—	—	—	—
16	詫摩 美月	—	—	—	—	—
17	原田 瑞稀	—	—	—	—	—
18	古川 梨沙	—	—	—	—	—
コーチ	田崎 弘幸					
合計		41	5	12	2	6

*…スターター (C)…キャプテン 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル R…リバウンド As…アシスト

戦評

1Q、第30回全九州春季選手権大会は高見#10萩尾、北諫早#10北御門のティップオフで開幕した。高見はオールコートマンツ、対して北諫早はハーフマンツで守る。北諫早#14道脇の3Pで先制。高見は#14森田のシュートで応戦する。北諫早は粘り強いディフェンスからの縦パス速攻。高見は高さを生かし、インサイド#11中尾・#10萩尾にボールを集める。お互いに持ち味を出し、一進一退の攻防で1Qを13-16北諫早3点リードで終える。

2Qの立ち上がり、高見は北諫早#10北御門へのマークを強め、そこから北諫早の得点が止まる。高見は#13藤井、14森田の連続シュートで17-16と逆転。たまたま北諫早はタイムアウトをとる。しかし、高見#10萩尾がジャンプシュートを連続して決め、流れは変わらない。北諫早#4佐藤の3P、#14道脇の速攻で応戦するものの、高見#10萩尾のバスケットカウント、#14森田の3Pなどで徐々に点差を広げる。33-21で前半を終える。

3Qに入っても北諫早のインサイド#10北御門へパスが渡らず、外から3Pを打つ展開。高見は#16有田、#14森田、#10萩尾の連続シュートなどで次々と加点。北諫早も#14道脇のジャンプシュートなどで食い下がるが、55-27と点差を広げられる。

4Q、北諫早はゲームの展開を速くして#4佐藤、#13濱口の3Pなどで点差を縮めようとするが、高見#16有田、#4高橋の厳しいディフェンスからの速攻で点差を広げられてしまう。残り2分北諫早は1-2-1-1ゾーンディフェンスでプレッシャーをかけ、#10北御門の1ON1、#13濱口の3Pで食い下がるが、高見は冷静に試合運び68-41で試合終了。

記載者

幸、瀧

(所属) 大分県バスケットボール協会